

I. 新市民会館に期待すること

大項目	小項目	Aグループ	Bグループ	Cグループ	Dグループ
1. 理念・全体像	コンセプト・イメージ	<ul style="list-style-type: none"> ●(兵庫県立芸術文化センターのような)市民と一体感あるホール ●施設全体では、メインホールのほか、タイプのちがう中小ホールを付け加え、全体として複合的なホール施設 	<ul style="list-style-type: none"> ●堺から世界的なレベルの文化を発信できるホール ●現代社会に対応する施設 ●市民が使いやすいこと ●堺の歴史のイメージを反映したホール ●堺の歴史をつくる会館像 ●外国人が来たくようなホール ●市民がもっと気楽に利用できる施設 	<ul style="list-style-type: none"> ●見るからに文化の香りがする仕掛けがあるホール ●音楽ホールを望むが、全市の大会（講演会）を開く回数も多いと思うので、マルチビジョンのような機能があると良い ●文化を創造する場所としての機能（防音、広さ、倉庫） ●80万政令都市としての中核文化芸術施設としてホール部分と他施設（練習場、集会室）をつくる。レストラン、ショップ等のサービス施設は不要かも。 ●センター機能、しかしホール、練習、会議は分ける 	<ul style="list-style-type: none"> ●政令市及び世界遺産級文化のある堺市にふさわしいホール ●会議室は除いたホール専用の会館に（用途を限って不要なものはつくらない。） ●世界の市民会館、(堺の事業として) NHKみたいななど自慢を催し、世界に向けて流す
	全体	<ul style="list-style-type: none"> ●「バリアフリー」「出演者が使いやすい」「見る人が快適」この3点が基本 ●利用者が動きやすいこと 	<ul style="list-style-type: none"> ●出入り自由、市民の創造発信の場、大テント張り（ハコモノ不要） 	<ul style="list-style-type: none"> ●バリアフリーの徹底 ●文化を創造する場所としての機能（防音、広さ、倉庫） ●会館内で有意義な催しができることが、利用に便利である。教室、集会、イベント、図書館 etc. 	<ul style="list-style-type: none"> ●公的予算だけで必ずしもつくらなくてよい ●予算は最小限にとどめる（借金が多いため大ホールはビッグアイを使用すればよい） ●段階的に整備する方法でもOK
2. 施設・設備	メインホールのタイプ	<ul style="list-style-type: none"> ●メインホールは音楽に対応する音響の良いホールで、その他の大型公演も対応する多機能多目的ホール 	<ul style="list-style-type: none"> ●大ホールはオペラを含むクラシック専用（多目的ホールは無目的ホール） ●大ホールはオペラを含むクラシック専用、中ホールはポップス・ロック、演歌・歌謡曲 ●音響が良いことが特色（音響がよければ大物アーティストも呼べる） 	<ul style="list-style-type: none"> ●多目的ホールはだめだと思います。市内のホールには役割分担をさせて、専用ホールをつくりたい（できれば音楽関係） ●従来よりは多目的であること（できるだけいろいろな文化が利用できるよう） ●ホールが多目的に合わせて沢山ある施設 ●市民会館は良い。今の市民会館ぐらいの大きなもの ●音楽ホールを望むが、全市の大会（講演会）を開く回数も多いと思うので、マルチビジョンのような機能があると良い ●客席を800席位、花道は長く立派に、楽屋の数（小部屋）多く 	<ul style="list-style-type: none"> ●音楽専用ホール（国際レベルの音響効果を重視） ●大ホールの音響を良く ●大（音楽中心）・中（演劇中心）・小（多目的）ホールの完備
	舞台	<ul style="list-style-type: none"> ●楽屋と舞台が同じ階でフラットであること ●花道がある舞台、楽屋に行きやすい 		<ul style="list-style-type: none"> ●客席を800席位、花道は長く立派に、楽屋の数（小部屋）多く 	<ul style="list-style-type: none"> ●花道（脇）を設置。

大項目	小項目	Aグループ	Bグループ	Cグループ	Dグループ
2. 施設・設備 (つづき)	客席	<ul style="list-style-type: none"> ●世界一舞台の見えやすい観客席の劇場 (前の人の頭がじゃまにならないように) 例: 劇団四季劇場 ●席が後ろであっても見やすいホール ●客席で食事のできる劇場 			
	付帯施設など	<ul style="list-style-type: none"> ●小ホールが多目的ホールとして使える(イスを移動・収納できるように) ●エントランス・ホワイエの整備 ホール内でイベント開催時でもエントランス、ホワイエでの展示等が行える ●出演者や裏方さんの使用しやすいように、道具をいれやすいように ●外観はもちろん、会場までのエントランスがたいせつ ●花展をする広い会場を併設 ●エスカレーターまたはエレベータの大きなものを ●お茶を飲みくつろぐことのできる広い場所 ●明るいホールで、レストランがある ●プラネタリウム、映画館を併設 		<ul style="list-style-type: none"> ●ロビーコンサートやホワイエでミニコンサートもできるような空間 ●レストラン、ショップは不要 ●客席を800席位、花道は長く立派に、楽屋の数(小部屋)多く 	<ul style="list-style-type: none"> ●エレベーターは客用、荷物用ともに大きい物を ●レストランを設置。 ●楽屋階段を設置。 ●自然エネルギーの利用 ●多目的室(空間)の充実(展示にも使えるよう、すのこをつけ、天井を高く) ●リハーサルは現在ホール舞台を使っているくらいだからリハーサル室は不要(運用の仕方でもなんとでもなる) ●市議会の中継を見られるようにする。 ●大(音楽中心)・中(演劇中心)・小(多目的)ホールの完備
	バリアフリー	<ul style="list-style-type: none"> ●舞台と楽屋が同じ階にあり、年寄りにも使用しやすいバリアフリー ●高齢者も使用しやすいホール、例: エレベーター、エスカレーターが使用しやすい場所にあること 		●バリアフリーの徹底	
	外観	●どこにもないようなデザインのすばらしい建物に。	<ul style="list-style-type: none"> ●外観は歴史ある文化を盛り込んでかつ親しみの持てる(入りたいと望む)もの ●中庭や広場等、緑を取り入れた動線のある建築、景観 		
3. 運営	全体	<ul style="list-style-type: none"> ●施設は「運営」や「利用条件」もたいせつ ●(兵庫県立芸術文化センターのような)市民と一体感あるホール 	<ul style="list-style-type: none"> ●金沢、芦屋、水戸の施設の運営を参考に ●24時間使えるように 		
	使用料など	<ul style="list-style-type: none"> ●使用料は堺市が負担できないか ●駐車場を少し安くする 		●市民団体が利用しやすいように、車で来た時の駐車料も安く	
	運営手法	●指定管理者制度ではなく独自の運営形態。人が変われば使用者との密接な関係を持ってない。	<ul style="list-style-type: none"> ●市民に開かれた運営 ●市民が運営 ●行政と市民が並列、一体型 		
4. 立地	利便・環境など	<ul style="list-style-type: none"> ●交通の便利なところに ●商店街の活性化とつなげる ●まちづくりとつなげる 	<ul style="list-style-type: none"> ●(末永くあってほしいので)場所は耐震、バリアフリー、ハザードマップにかからない所に建てる ●立地条件はこれでよいか。狭いが(駐車場等)便利の良いところ、便利が悪いが(駐車場等)広い ●できれば(駐車場等)狭くても便利のよいところに 	<ul style="list-style-type: none"> ●交通の便がよく、まわりが賑わっている場所 ●駅に近い所 ●公共交通機関で行きやすい所 ●会館のまわりの環境、緑地公園の中に 	<ul style="list-style-type: none"> ●現在の市民会館の場所の建て替え ●駅に近いこと。 ●文化観光の拠点とする(世界遺産の場所に設置) ●周辺は緑を多く、時間をかけてでも森をつくる ●新しい森(太陽と緑と風と)をつくり、森の中にホールをつくる ●活断層のチェックが必要。

【注】()は板書されたもの。それ以外はカードに記入されたもの。